

小学校 5年 家庭科

考える

書く
読む

育成したい
国語力

疑問に思う根拠や内容を分かりやすく書く。
目的に応じ、理由を明らかにしながら自ら考えたことや推論したことを書く。
伝えたい内容や目的を明確にし、写真と文を比較し、内容をとらえながら読む。

題材名 「針と糸を使ってみよう」

本時の目標

ボタンの役割や種類を知り、二つ穴ボタンを付けることができる。
【生活の技能】

本時の流れ

導入

本時のめあての確認

「ボタンのひみつをさぐり、ボタン付けをしよう！」

展開

ボタンについて調べたこと交流（一斉）

・身の回りで使われているボタンを観察してその役割や特徴、種類などを交流する。

二つ穴ボタンの付け方を調べる（個人・一斉）

・写真と文を合わせ、ボタン付けの手順表を完成させる。（ワークシート）

試しのボタン付け（個人）

・作成した手順表を参考にする。
・試しのボタン付けで気付いた点をワークシートに書く。

ボタン付けのポイントを見付ける（グループ）

・試しのボタン付けで気付いた点をもとに話し合う。

花びらにボタン付け（個人）

・ボタン付けのポイントを意識して、前時にフェルトで作成した花びらにボタンを付ける。

ボタン付けを確かめる（グループ）

・ボタンの付いた花びらを合わせ、「ボタン付けのポイント」どおりにできたかを確認する。

まとめ

本時のまとめ・振り返り

題材の流れ



第1次（2時間）

【裁縫用具をたんけんしよう】

- ・タペストリー作品を見て、学習への意欲と見通しをもつ。
- ・裁縫用具の名前と安全な使い方を知る。

第2次（2時間）

【針と糸でチャレンジ1】

- ・針に糸を通す。
- ・玉結びや玉どめをする。
- ・名前の縫い取りや簡単な縫い方の練習をする。
- ・フェルトで花びらや葉を作り、縫い取る。

第3次（2時間）（本時）

【針と糸でチャレンジ2】

- ・ボタンの役割と種類を知る。
- ・二つ穴ボタンを縫い付ける。
- ・花びらにボタンを縫い付ける。

視点①

考える力

家庭学習など事前に身の回りで使われているボタンに着目し、形や、付いている場所、役割などの視点で調べます。普段何気なく使っているボタンの役割と付けるときの留意点を関連付けて考えます。

ボタンのひみつをさぐろう！

場所	形	役割	疑問点
ブラウスの前		前が開かないようにとめる。	ちょっとぶらぶらしているけどおちないのはなぜ？

視点②

考える力

ワークシートの写真と文とを比較して情報を正確に読み取り、ボタン付けの手順を主体的に理解できる場を準備します。

また、試しのボタン付けで個々に気付いたことを基に話し合い、「考える力」を育てます。

国語力育成の視点

ボタン付けの基本的な技能を実生活に生かすことのできるものにするために、
学級のタペストリー作りにつながるボタン付けの場の設定
ボタン付けの手順や、付け方の共通点を考える場の設定
活動した中で気付いたことを自分の言葉で整理する場の設定
等が大切です。特に の場において「考える力」を育成します。

ワークシート

針と糸でチャレンジ2 ボタン付けをしよう！

ボタン付けの手順

* 同じ内容を表す写真と文を線でつなぎましょう。

1		準備物 針 糸 布 ボタン * 針に糸を通し、玉結びをする。
2		ボタンを布から少し浮かせて3～4回ボタン穴に通し、布の裏に出す。
3		ボタンと布の間に針を出す。
4		布の裏に針を出して玉どめをする。
5		布の裏から針をさし、ボタンの穴に通す。
6		糸を根本で3～4回固く巻く。

名前 ()

試しのボタン付けで気付いた点

理由

ボタン付けのポイント

写真資料 京都府総合教育センター
ホームページ

低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

音楽

美術
工芸
技術

家庭
技術

保健
体育

活動
特別

道徳

総合
学習